

2005年2月1日

上海宝鋼地産有限公司への出資に関わる件

三菱商事は、2005年1月31日中華人民共和国/上海市にて上海宝鋼集团公司(本社:中華人民共和国上海市、代表:謝企華)の100%子会社である不動産デベロッパー上海宝鋼地産有限公司(本社:中華人民共和国上海市、代表:全平、登録資本金約7億元)の出資持分の15%を取得する合弁契約書に調印し、中国での分譲住宅を中心とした不動産開発事業に参入する事となりました。

尚、本件パートナーとして、香港の不動産デベロッパー嘉華国際集团有限公司(本社:香港北角渣華道、代表:呂志和)がシェアの41.5%、東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:植木正威)がシェアの2%を同時に取得いたします。

当社は、上海をはじめとする主要発展都市での成長著しい中国不動産マーケットにデベロッパーとして参入すべく一昨年10月より積極的に事業展開の検討を続けて参りました。その過程において、二十数年来好関係にある上海宝鋼集團の傘下企業である宝鋼地産への出資の話が持ち上がり、今般の調印へと繋がったものです。

本出資により当社としては、宝鋼地産に董事(日本の取締役にあたる)を派遣し、30年の不動産事業経験に基づくノウハウを提供し、主として中国都市部のホワイトカラー向けの分譲住宅の開発に注力をしていく事を目論んでおります。また、IPOを視野に入れつつ、現在当社で推進しております不動産証券化、随伴取引の拡大等、中国での不動産を核とした新たなバリューチェーン構築を目論んでおります。また、宝鋼グループとの今後一層の提携強化も図ります。

上海宝鋼地産有限公司は2002年より上海での住宅分譲事業を中心とした事業展開を行っている不動産デベロッパーです。宝鋼地産は今後上海を中心として分譲住宅をコンスタントに供給する予定であり、既に上海市内を中心に大規模プロジェクトを進行中です。